

科目名 (Eng)		新事業開発 (New business development)							
担当教員		松本 行真							
対象学年等		専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		各専攻共通専門関連科目	1	前期	必修	2	(30)	関連	B
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-4),(C-1),(C-3),(C-6)								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2). 3).								
	JABEE基準1(1)との対応：(d)-(1),(d)-(4),(h).								
授業の概要と方針		市場ニーズをどう見出して、技術とマッチングさせ、事業化、商品化していくか。その手法とプロセスについて学んだ上で、チームによりアイデア探索を行う。							
到達目標		学ぶ点は以下の通り。 新事業開発のプロセス 調査企画の作り方 情報収集のやり方とまとめ方							
授業計画									
	週	授業項目		理解すべき内容			事前学習		
前期	1	イントロダクション		新事業開発とは					
	2	新事業開発とは何か					提示課題の作成（以下同）		
	3	新事業開発のプロセス（１）		新事業開発のためのフレームワーク					
	4	新事業開発のプロセス（２）		市場機会探索の方法					
	5	新事業開発のプロセス（３）		事業機会評価の方法					
	6	新事業開発のプロセス（４）		開発戦略シナリオの作成方法					
	7	新事業開発のプロセス（５）							
	8	開発立案とリサーチ（１）		定量的アプローチの方法					
	9	開発立案とリサーチ（２）		定性的アプローチの方法					
	10	開発テーマ探索（１）		実習の進め方、情報収集とまとめ方					
	11	開発テーマ探索（２）							
	12	開発テーマ発表							
	13	新事業アイデア探索（１）		アイデア創出方法					
	14	新事業アイデア探索（２）							
	15	商品コンセプト素案発表							
試験について		前期期末試験（100分）を実施する。							
評価方法		前期期末試験の成績を70%、課題を30%として総合的に評価する。							
教科書		『製品・新事業開発の創造的マーケティング 開発情報探索のマネジメント』、石川編、生産性出版							
参考書		『マーケティング・サイエンス入門』、古川・守口・阿部、有斐閣アルマ 『新事業開発の論理と実際』、竹山元一、日本マーケティング研究所							
関連科目		新事業開発 、ビジネス創造演習							
履修上の注意		ビジネス創造演習との連携にて行う。 自学自習の確認方法：授業の予習或いは復習などの課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。							